



新美南吉生誕100年通信

NIIMI NANKICHI 100th Anniversary Year

新美南吉生誕100年まで1年9か月

発行 新美南吉生誕100年記念事業実行委員会 〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1 新美南吉記念館内



生誕100年プレ事業始まる

南吉100歳1000日前祭・角笛シルエット劇場

- 1 「ごんぎつね」の上演を終え、挨拶をする角笛の劇団員
- 2 影絵劇「ごんぎつね」の一場面
- 3 童話「牛をつないだ樁の木」にちなんだ人力車試乗（1000日前祭）
- 4 詩「貝殻」にちなんだ貝殻笛づくり（同祭）
- 5 1000日前カウントダウンボード除幕式後に披露された童話の群読（同祭）

年が明けて三月二十一日（祝）には、雁宿ホールで角笛シルエット劇場「ごんぎつね」が行われました。これは生誕百年プレ事業

が、まず百歳の誕生日に向けたカウントダウンボードの除幕式が行われ、岩滑小学校（南吉の母校）の児童が南吉の幼年童話の群読を披露しました。続いて、市内小学校のPTAらによる大型紙芝居、南吉オリジナルソングの演奏とストーリーテリング、限定缶バッジづくり、貝殻笛づくり、人力車試乗、南吉クイズなどが行われ、大勢の人で賑わいました。

*

新美南吉が生きていた百歳を迎える平成二十五年七月三十日から数えてちょうど千日前にあたる昨年十一月三日（祝）、これを記念するイベントが新美南吉記念館で行われました。

二日前に発足したばかりの「新美南吉生誕百年記念事業実行委員会」（以下・生誕百年実行委員会）が行う最初の事業で、生誕百年に向けたプレ事業の皮切りとなるものです。

というほかに、今年「ごんぎつね」が誕生八十年を迎えることを記念したもので、公演翌日は南吉の命日でもありました。

劇団角笛は、昭和三十八年に結成された影絵専門劇団で、東京を拠点に全国を回り、世界十カ国で海外公演もしています。角笛の「ごんぎつね」は、東京都などからも表彰された芸術性の高い作品です。これまでも幾度か上演されてきましたが、今年度の演目として各地を巡回するにあたっては、団員が物語の舞台となった半田市を訪ねたり、新美南吉記念館の矢口栄館長を東京に招いて、講義を受けたりしてきました。そうした団員の気持ちがかもった影絵劇を観に、半田での公演には、市内を中心に安城市や名古屋市などから約八百人の親子連れが集まりました。

新美南吉生誕百年記念事業 実行委員会が発足しました



代表して渡辺矩夫氏（南吉の甥・名古屋在住）が顧問として、また東京の新美南吉の会（旧新美南吉著作権管理委員会）や、ゆかりの安城市からも教育委員会の代表と新美南吉に親しむ会がオブザーバーとして参加しています。

事務局は、新美南吉記念館と新美南吉顕彰会が務めます。今後は、構成団体等の協力の下、作業部会を開き、具体的な事業計画づくりやPRを進めていく予定です。

昨 年十一月一日（月）、半田市役所で「新美南吉生誕百年記念事業実行委員会」の設立総会が行われ、従来の検討委員会から実行委員会へと体制が引き継がれました。

委員長には、検討委員会から引き続いて新美勝彦氏（ごんぎつねの会会長・写真中央）が就任。委員には、半田市内の文化、教育、観光、商工など各界の主な団体や地域の代表が集まりました。

また、新美南吉の遺族を

- ・新美南吉顕彰会
- ・新美南吉事業推進協議会
- 「ごんぎつねの会」
- ・半田市観光協会
- ・半田商工会議所
- ・半田青年会議所
- ・半田ライオンズクラブ
- ・半田ロータリークラブ
- ・半田南ロータリークラブ
- ・国際ソロプチミスト半田
- ・半田市文化協会
- ・半田市民憲章実践協議会
- ・半田市商店街連合会
- ・矢勝川の環境を守る会
- ・岩滑区
- ・半田一区
- ・半田市小中学校校長会
- ・半田市教育委員長
- ・半田市教育部長
- ・新美南吉記念館長

〈顧問〉

- ・半田市長
- ・半田商工会議所会頭
- ・新美南吉遺族代表

〈監査役〉

- ・半田市金融協会
- ・半田市副市長

〈オブザーバー〉

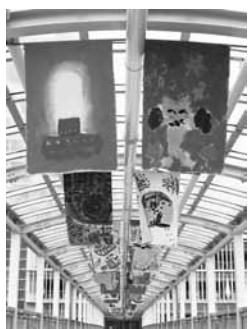
- ・新美南吉の会
- ・新美南吉に親しむ会
- ・安城市教育委員会

半田市観光協会も
南吉生誕百年を応援

現在、名鉄知多半田駅から駅前再開発ビルのクラシテイ半田に通じる立体歩道に、南吉童話を題材にした色鮮やかなフラッグアートが飾られています。

これは生誕百年実行委員会の構成団体でもある半田市観光協会が二月に行った「FLAG-ART STREET 2011」で十八人の小学生がそれぞれ描いたもので、五月五日（祝）まで観光客や市民の目を楽しませてくれます。

同会は、この他にもギャラリ「蔵のまち」で童話「おじいさんのランプ」をテーマにした、ガラス、イラストなどの作品展（三月末終了）を行うなど、南吉生誕百年に向け、積極的に取り組んでくれています。





幼年童話テキスト（記念館にて1500円で販売）

生誕百年に向けた半田市内の小学校での取り組み

童話「ごんぎつね」が小学四年生のすべての国語教科書に採用されるなど、昔から学校教育との関わりが深い南吉作品ですが、ふるさと半田市の小学校では、生誕百年に向けた南吉学習への取り組みが進められています。

まず、平成二十一年度には、子ども達が南吉作品に触れる機会を増やそうと、市内の全十三小学校でそれぞれ作品を選び、PTAや地域ボランティア、児童職員の手で南吉童話の大型紙芝居が作られ、各校で上演されました。現在、制作された紙芝居は一カ所に集められ、相互に利用できる体制になっています。

また、半田市では学校教育でのICT（情報通信技術）活用を進めています。その一環として、新美南吉記念館と市内小学校を結んだテレビ授業が行われ、デジタル教材「ごんぎつねものしり図鑑」（新美南吉記念館ホームページから利用できます）も開発しました。

昨年度には、低学年児童

の南吉学習を進めるため、南吉の幼年童話十作を収めた読書用テキストを独自に作りしました。これは、クラス全員が一度に同じ作品を読み、感想を言い合うなどの授業をするためのもので、全小学校に各作品四十冊ずつ配布されました。

一方、新美南吉記念館でも四年生を対象にした出前授業を行っていて、三年目の昨年度は、館長や学芸員が計十校を訪れました。

このような生誕百年に向けた取り組みを通して、子ども達が南吉作品に親しみ、読書や郷土への関心を深めていくことが期待されています。



ＯＨＰで裏から透過する凝った紙芝居も（成岩小）

南吉パネル展セットを貸し出します



も発送します。皆さんも新美南吉のパネル展を開いてみませんか？

○貸出対象

学校、図書館、公民館などの公的施設のほか、店舗や各種イベント会場（屋内）でもお使いいただけます。※用途や期間によっては、お貸しできない場合もあります。

○貸出期間

二週間以内（運搬にあてる日数は前後各四日まで）

○予約受付

利用初日の六カ月前の日が属する月の初日から受付ます。

○貸出料

貸し出しは無料ですが、保険をかけていただきます（保険料千円）。また、運送費がかかる場合は実費をご負担ください。

○申し込み・問い合わせ

新美南吉記念館

☎0569-26-4888

運送費や申請方法など詳しくは、新美南吉生誕百年ホームページ

（<http://www.cac-net.ne.jp/~nankichi/100th/100th.html>）をご覧ください。

新美南吉記念館では、生誕百年にあたって、一人でも多くの方に南吉について知っていただくため、南吉の生涯や作品故郷について紹介するパネル展セットを作成し、貸し出しを始めました。

パネルはB2判十枚で専用木箱に入っています。南吉の絵本など約三十冊の書籍と共に、全国どこの町で

新美南吉童話イメージキャラクター決定

半田市では、1月15日（土）を締切に、新美南吉童話イメージキャラクターを募集したところ、全国から1,159点ものご応募をいただき、審査の結果、**國宗尚久**さんの作品が最優秀作品に選ばれました。

皆さまに末永く愛されるキャラクターに育てていくため、愛称を募集するとともに、広く利用を受け付けていきます。

僕に名前を付けてください!

南吉さんゆずりの帽子とジャケット、童話「手袋を買いに」にちなんで手袋をはめた僕は、ただのキツネじゃないんだ(ただのキツネには見えないって?)。

じつは南吉さんの弟子で、師匠に代わって、皆さんを南吉童話の世界にナビゲートするのが僕の仕事なんだ。そんな僕にぴったりの名前をみんなで考えてね。



◆募集期間

平成23年4月1日(金)～5月31日(火)必着

◆応募方法

- ・葉書に、愛称(僕の名前)、応募者の氏名(中学生以下は保護者名も)、住所、電話番号、年齢(中学生以下は学校名も)を書き、新美南吉記念館にお送りください。
- ・Eメールでも応募できます。
- ・複数案の応募も可能ですが、葉書・Eメール共に1つの案につき、1通の応募をお願いします。

◆賞品

図書券1万円分(応募者が複数の場合は抽選で1名)

◆応募先・問い合わせ

〒475-0966 愛知県半田市岩滑西町1-10-1

新美南吉記念館 キャラクター愛称係

TEL:0569-26-4888 Eメール: nankichi@city.handa.lg.jp



<最優秀賞>

國宗尚久さん

愛知県東海市在住、36歳

グラフィックデザイナーとして広告制作会社に勤務するかわら、個人的にもグラフィック、Webなどを制作活動中。

南吉生誕百年事業の
ために百万円寄付

→ 月十三日(木)、梅花女子大学名誉教授の

谷悦子さんから南吉生誕百年事業のために、新美南吉顕彰会へ百万円が寄付されました。

谷さんは、著書に『新美南吉童話の研究』(昭和五十五年・くろしお出版)があり、最近も角川春樹事務所から出版された新美南吉の童話集や詩集で編集と解説を担当されています。

新美南吉顕彰会は、昭和三十年代から半田市における南吉顕彰の中心となってきた団体です。毎年、新美南吉に関する講演会を開催していて、谷さんにも平成十一年に講演をしていただきました。

顕彰会は、生誕百年実行委員会の事務局も務めており、いただいたご厚志は、今後、記念事業や生誕百年に向けた環境整備などで有効に使わせていただきます。

誠にありがとうございます。